博物館だより

M U S E U M

博物館　TEL 63-1122

銅の道　鹿角街道

今月は、当館で開催中のトピック展「北の往来―往時の八幡平市・鹿角街道を辿る―」の展示資料を紹介します。鹿角街道は、盛岡藩の脇街道として現在の盛岡市から八幡平市を通って秋田県鹿角市までを結び、大館市に続いていました。展示している盛岡藩の直轄地である大更御新田の範囲が描かれた「大更御新田絵図面（安永９（1780）年―県立図書館所蔵）」の絵図を見ると、旧田頭村から旧平舘村まで鹿角街道が通っていて、旧田頭村を流れる松川に「松川橋」が架けられているのが分かります。

「松川橋」と表記されています
大更御新田絵図面（一部）

松川橋の管理費は、盛岡藩の毛馬内代官所・花輪代官所から出されていました。その理由の１つに、鹿角街道が鹿角の尾去沢鉱山などから産出した銅を盛岡まで運ぶ道であったことが挙げられます。

時代により異なるものの、鹿角の銅の多くは三戸を通って野辺地へ、そこから日本海を南下して大阪まで運ばれていましたが、冬期間や悪天候のときは、鹿角街道を通り盛岡まで輸送する行程が採られていました。

鹿角街道は、盛岡藩の産業を支える重要な役割を担っていたのです。

トピック展

北の往来 ―往時の八幡平市・鹿角街道を辿る―

■日時　９月29日㈫までの午前９時から午後４時半まで
※休館日は、月曜日（祝日の場合は翌平日）

■学芸員によるギャラリートーク（展示解説）　８月23日㈰
午前11時から約20分間　※予約不要

図書館だより

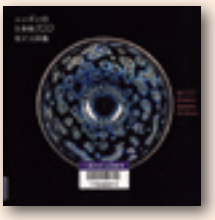
L I B R A R Y

図書館　TEL 75-1700
松尾コミュニティセンター図書室　TEL 76-3235
荒屋コミュニティセンター図書室　TEL 72-2505

◆新着ピックアップ

『ニッポンの名茶碗100原寸大図鑑』

出版社／小学館



日本美術を代表する名作100碗を原寸大の写真入りで解説。掲載作品は、各地の美術館や博物館で実物を見ることができ、所蔵館のデータも掲載されています。

『サイエンススイーツ』

著／太田さちか、出版社／マイルスタッフ

溶けないアイス、色の変わるゼリーなど化学実験のようなレシピがたくさん紹介されています。レシピは実験ポイントの解説付きで、自由研究にもお薦めです。

新着小説紹介

書名	著者名
あしたの華姫	畠中　恵
うたうおばけ	くどう　れいん
ホーム	堂場　瞬一
語らいサンドイッチ	谷　瑞恵
不良	北野　武
水を縫う	寺地　はるな

◆新しい教科書が入りました

市内の小学校が今年度から使っている教科書を取りそろえました。館内で閲覧できるほか、貸し出しもしています。